



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社  
 コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒谷 悦司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理担当 (氏名) 宮下 英二

TEL 0568-33-7211

四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 当社ホームページに掲載

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	33,012	3.6	3,071	△13.0	3,192	△17.3	2,148	△18.4
27年3月期第3四半期	31,875	6.3	3,528	39.4	3,859	43.9	2,632	44.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,769百万円 (△48.9%) 27年3月期第3四半期 3,461百万円 (45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	38.17	—
27年3月期第3四半期	46.79	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	41,560	34,368	82.1	606.53
27年3月期	41,004	33,685	81.6	594.34

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 34,131百万円 27年3月期 33,445百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	6.6	4,800	8.7	4,800	0.5	3,300	4.8	58.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	56,457,898 株	27年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	184,216 株	27年3月期	184,110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	56,273,718 株	27年3月期3Q	56,274,406 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかな回復基調で推移し、欧州においても底堅く推移いたしましたが、中国や新興国においては、成長スピードが鈍化し、全体では先行き不透明な状況で推移いたしました。

わが国経済においては、企業収益や雇用情勢が改善するなど、全体としては緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、国内においては、緩やかな景気回復を受け、主要顧客先である I T 関連業種（半導体・液晶、自動組立機械、電機電子）向けが堅調に推移したことに加え、カスタム部品/商品の大口件名が寄与し、国内売上高は18,999百万円（前年同期比3.5%増）となりました。一方、海外においては、中国向け売上高はスマートフォン製造設備関連向けの需要減により成長は鈍化いたしました。その他地域での売上高が伸長し、海外売上高は14,013百万円（同3.7%増）となりました。

なお、売上高は増加いたしました。パナソニック デバイス S U N X 竜野株式会社における新棟関連費用及びパナソニック デバイス S U N X タイ株式会社の生産立上げ費用、また、将来を見据えた生産設備増強投資を実施したことにより、減益となりました。

以上の結果、売上高は33,012百万円（同3.6%増）、営業利益は3,071百万円（同13.0%減）、経常利益は3,192百万円（同17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,148百万円（同18.4%減）となりました。

### セグメント別の状況

#### ・センシングコントロール事業（F A 用センサ、P L C、プログラマブル表示器等）

国内においては、F A 用センサ、P L C が I T 関連向けに売上高が増加いたしました。一方、海外においては、中国での成長が鈍化いたしました。その他地域での売上高が伸長し、前年並みで推移いたしました。その結果、センシングコントロール事業の売上高は20,239百万円（同1.8%増）となりました。なお、将来を見据えた生産設備増強投資を実施したことなどにより、セグメント利益は3,963百万円（同1.6%減）となりました。

#### ・プロセッシング機器事業（レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等）

国内においては、I T 関連向けが堅調に推移し売上高は前年並みとなりました。一方、海外においては、中国・アジア向けにレーザマーカの売上高が伸長いたしました。その結果、プロセッシング機器事業の売上高は7,361百万円（同4.4%増）となりました。なお、研究開発費の増加などにより、セグメント利益は506百万円（同19.8%減）となりました。

#### ・E c o ・カスタム事業（エコ関連商品、カスタム部品、カスタム商品等）

国内においては、カスタム部品/商品の大口件名が寄与し売上高が増加いたしました。海外においては、エコ関連商品の売上高が伸長いたしました。その結果、Eco・カスタム事業の売上高は5,412百万円（同9.6%増）となりました。なお、エコ関連商品及びカスタム部品/商品を主に取り扱っているパナソニック デバイス S U N X 竜野株式会社における新棟関連費用発生に伴い、セグメント損失は4百万円（前年同期はセグメント利益166百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は前連結会計年度末に比べ556百万円増加し、41,560百万円となりとなりました。この主な要因は下記のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ375百万円減少し、28,528百万円となりました。主な内容は売掛債権が681百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ930百万円増加し、13,031百万円となりました。主な内容はパナソニック デバイス S U N X 竜野株式会社における新棟等の有形固定資産が947百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ173百万円増加し、6,050百万円となりました。主な内容は未払法人税が463百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ300百万円減少し、1,141百万円となりました。主な内容は退職給付に係る負債が265百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ683百万円増加し、34,368百万円となりました。主な内容は親会社株主に帰属する四半期純利益2,148百万円による増加と、配当金の支払1,069百万円の減少等によります。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより11,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ197百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,194百万円、仕入債務の増加による資金の増加897百万円を計上する一方、たな卸資産の増加による資金の減少522百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは3,103百万円となり前年同四半期に比べ1,052百万円収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2,128百万円等により2,084百万円の支出となり前年同四半期に比べ448百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額1,082百万円等により1,082百万円の支出となり、前年同四半期に比べ340百万円支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,689	5,138
受取手形及び売掛金	4,455	3,774
商品及び製品	2,342	2,417
仕掛品	603	560
原材料及び貯蔵品	2,500	2,896
預け金	11,784	12,138
その他	1,536	1,609
貸倒引当金	△9	△6
流動資産合計	28,903	28,528
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,827	3,827
その他(純額)	6,671	7,618
有形固定資産合計	10,499	11,446
無形固定資産	952	941
投資その他の資産	649	644
固定資産合計	12,101	13,031
資産合計	41,004	41,560
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,620	2,969
電子記録債務	—	516
未払金	1,127	787
未払費用	639	736
未払法人税等	573	110
賞与引当金	843	507
その他	72	423
流動負債合計	5,877	6,050
固定負債		
退職給付に係る負債	1,406	1,141
その他	34	—
固定負債合計	1,441	1,141
負債合計	7,319	7,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	18,370	19,449
自己株式	△64	△64
株主資本合計	31,995	33,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	32
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	1,407	1,098
退職給付に係る調整累計額	△22	△74
その他の包括利益累計額合計	1,449	1,056
非支配株主持分	239	236
純資産合計	33,685	34,368
負債純資産合計	41,004	41,560

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	31,875	33,012
売上原価	22,009	23,489
売上総利益	9,866	9,523
販売費及び一般管理費	6,337	6,451
営業利益	3,528	3,071
営業外収益		
受取利息	65	78
受取配当金	2	2
受取地代家賃	27	26
為替差益	225	12
その他	16	5
営業外収益合計	337	125
営業外費用		
不動産賃貸費用	3	3
その他	3	1
営業外費用合計	6	4
経常利益	3,859	3,192
特別利益		
投資有価証券売却益	—	64
固定資産売却益	8	0
特別利益合計	8	64
特別損失		
固定資産除却損	5	61
特別損失合計	5	61
税金等調整前四半期純利益	3,862	3,194
法人税、住民税及び事業税	942	774
法人税等調整額	262	247
法人税等合計	1,204	1,022
四半期純利益	2,657	2,172
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,632	2,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	24
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△31
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	784	△319
退職給付に係る調整額	17	△51
その他の包括利益合計	803	△403
四半期包括利益	3,461	1,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,405	1,755
非支配株主に係る四半期包括利益	56	14

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,862	3,194
減価償却費	977	1,157
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△242	△341
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△302	△334
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△2
受取利息及び受取配当金	△67	△81
為替差損益 (△は益)	△115	△51
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△64
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△3	61
売上債権の増減額 (△は増加)	483	641
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,209	△522
仕入債務の増減額 (△は減少)	△77	897
未払金の増減額 (△は減少)	△59	△200
その他	△52	△119
小計	3,190	4,235
利息及び配当金の受取額	67	81
法人税等の支払額	△1,206	△1,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,051	3,103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預け金の預入による支出	△6,000	△6,000
預け金の払戻による収入	6,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△1,145	△2,128
有形固定資産の売却による収入	15	202
無形固定資産の取得による支出	△506	△237
投資有価証券の売却による収入	—	79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,636	△2,084
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△729	△1,065
非支配株主への配当金の支払額	△12	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△742	△1,082
現金及び現金同等物に係る換算差額	560	△133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234	△197
現金及び現金同等物の期首残高	10,533	11,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,768	11,276



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	19,885	7,053	4,936	31,875
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	19,885	7,053	4,936	31,875
セグメント利益	4,027	631	166	4,824

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,824
全社費用(注1)	△1,340
調整額(注2)	44
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,528

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	20,239	7,361	5,412	33,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	20,239	7,361	5,412	33,012
セグメント利益又は損失 (△)	3,963	506	△4	4,465

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,465
全社費用(注1)	△1,443
調整額(注2)	50
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,071

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。